

図書館だより



令和4年12月5日
明和中学校図書館



校内読書旬間

期末テストが終わり、冬休みを楽しみに待つ時期になりましたね。校内行事や図書委員の交代なども落ち着いたところで、読書旬間を開催します。ぜひ図書館を訪れてみてくださいね！

① みんなでパズルを完成させよう！

期間中、図書館で本を借りると1枚ずつピースをもらえます。ホワイトボードに貼ってある台紙に、もらったピースを貼っていくと、ある本の表紙絵が完成します。パズルは全部で200ピース、みんなで完成させよう！

② スタンプを集めてプレミアムカードをめざそう

期間中、借りた本の冊数だけポイントカードにスタンプを押します。ポイントが9個貯まると、個人カードがいつでも3冊まで借りられるようになるプレミアムカードになります。スタンプを集めよう！（プレミアムカードが使えるのは3学期からになります）

③ 先生方&図書委員のおすすすめ本

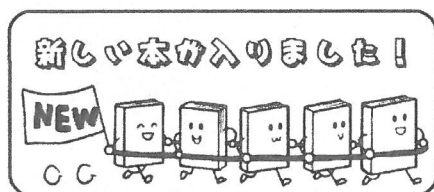
後期の図書委員と、先生方におすすすめの本を書いてもらいました。図書館の廊下に展示しますので、本を借りるときの参考にしてくださいね！

④ クリスマスのしおりプレゼント

ハロウィンにつづいて、クリスマスのかわいいしおりができました。今回は2種類です。本を借りた人にプレゼントします。たくさん準備してありますが、なくなり次第終了です。

イベント期間：12月7日（水）～ 12月21日（水）

ぜひ参加してね！！ そしてさらに→ **冬休み前の特別貸出**



- ◇ ONE PIECE FILM RED
 - ◇ すずめの戸締まり
 - ◇ ふしぎ駄菓子屋銭天堂 18
- ・・・など他にも！

12月21日（水）～12月23日（金）
は、冬休み前の特別貸出をします。

冬休み中の
貸出は

5冊
まで



冬休みの図書館開放日は、
12/27（火）、1/5（木）
です。特別貸出で借りた本
は、1/13（金）までに返却
しましょう。

『枕草子』

清少納言

第一段の「春は、あけほの。」が有名な『枕草子』。著者の清少納言（生没年未詳）は平安時代の歌人、随筆家で、一条天皇の中宮定子に仕えていました。学才を定子に愛され、この随筆を書くことを促されたといわれています。枕草子では、当時の華やかな宮中生活と移ろいゆく季節を生きる人間の心模様などが、清少納言独特の鋭くユニークな視点で描かれています。

「職の御曹司におはしますころ、西の廂にて」で始まる話は、寒さ深まる一二月半ばの出来事。大雪が降った後、定子の仰せで屋敷の庭に大きな雪山が作られました。定子と女房たちの間でいつまで雪が解けずに残るか、賭けが行われ、みんなは一日あまりと答える中、清少納言だけは一月一五日までと答えます。予想の日までに雪山が解けないかどうかやきもきして、庭番に見張らせる清少納言の負けず嫌いな性格がうかがえます。また、賭けをめぐる意外な結末がおもしろいです。古典と構えずに読んでみると、共感するところが多く見つかるでしょう。

※『枕草子』は、岩波書店、新潮社、筑摩書房、角川書店などから発行されています。

答えは図書館で！

名作 まちがいさがし

中宮定子の仰せで、屋敷の庭に大きな雪山を作ることになりました。警護の侍や屋敷に仕える職員だけではなく、非番の者まで駆り出されることに。大人数で作業が行われ、すばらしい雪山が作り上げられたのでした。

下の2枚の絵の違いを5か所見つけてください。

